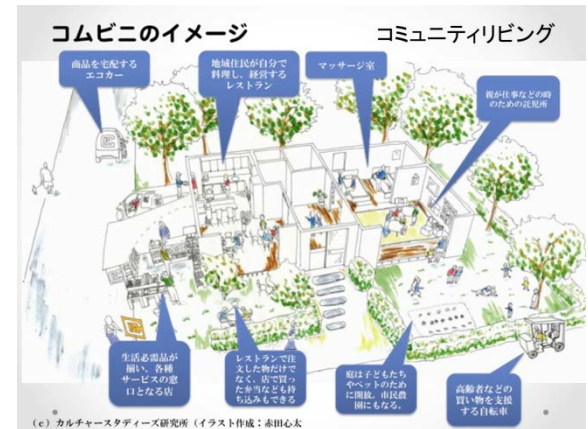


家族の枠を超えた支え合い。それをどう
支え、加速させていくかを考えよう。

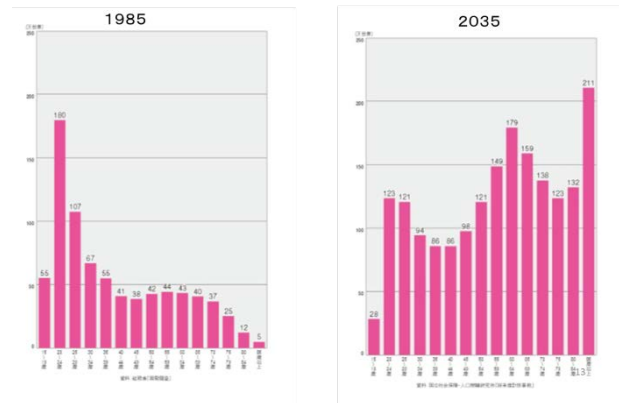
74歳まで働いてくれたほうがいいと言っても、病気を抱えていたりとか、十分に働き切れない。無制約で、残業も休日出勤もしたら大半の方は無理なので、**お互いができることをして、できないことは支えてもらうという、この支え合いの輪が必要になる「シェア社会」が重要。**(②三浦G)

今、300万人ぐらいパラサイトシングルがいるが、両親が亡くなり、60歳で初めてひとり暮らしをすることもあり得る。**家族だけで面倒を見合うというのでは足りず、赤の他人でも助け合える仕組みが必要。**行政に依存しないことも重要で、コミュニティが大事になると考えている。(②三浦G)

働けず、財産もなく、コミュニティとも関わろうとしない高齢者は、行政が手をさしのべるほかないのではないか。他方、**元気な高齢者が増えていけば、自らコミュニティを支えていくという状況**になり、このかたちが大切。(⑧土居)



新しい住まいのかたち～コミュニティリビング～
(出典：第2回懇談会 三浦展さん資料)



一人暮らし世帯の高齢化～誰が支える？～
(出典：第2回懇談会 三浦展さん資料)